

下野市都市交通マスタープラン検討委員会

第1回

令和2年8月5日

下 野 市

【目 次】

1. 都市交通マスタープランの検討方針

- (1) 計画検討の背景・目的
- (2) 都市交通マスタープランの位置づけ
- (3) 検討項目とスケジュール
- (4) 検討体制

2. 都市・交通の概況

- (1) 都市の概況
- (2) 交通の概況

3. 交通実態調査の概要

- (1) 簡易パーソントリップ調査(PT調査)
- (2) 交通意識アンケート調査

1.都市交通マスタープランの検討方針

(1)計画検討の背景・目的

(2)都市交通マスタープランの位置づけ

(3)検討項目とスケジュール

(4)検討体制

1. 都市交通マスタープランの検討方針

(1) 計画検討の背景・目的

■ 将来都市像の実現、新たなまちづくりの推進

- 下野市では、2016年3月に「**第二次下野市総合計画**」を策定し、市民一人ひとりが活力を持ち、安心して生活できる地域社会を形成し、誰もが幸せを実感できるまちを目指すことにしている。
- また、2017年3月には「**都市計画マスタープラン**」を改定し、これからの目指べき将来都市像として「快適でうるおいのある環境で新たな人の流れをつくるまちづくり」を掲げている。
- その実現に向け、JR 3 駅を中心とした**コンパクトシティの形成**、**市役所周辺のまちづくり**、**広域交通ネットワークを活かした産業拠点づくり**、**北関東自動車道スマートICの設置**など新たな課題に取り組むことにしている。

■ 交通を取り巻く社会経済状況への対応

- また、下野市でも、急速に進行する**人口減少**や**少子高齢社会**、**災害への備え**、**環境問題**など、交通を取り巻く社会経済状況は、大きく変化している。これらへの対応が求められている。

- 以上のようなことから、今後取り組むべき**総合的な交通施策の基本方針**として「**下野市都市交通マスタープラン**」を検討・策定するものである。

■ 将来都市構造図



資料:「下野市都市計画マスタープラン《改定版》」(2017年3月)より

1. 都市交通マスタープランの検討方針

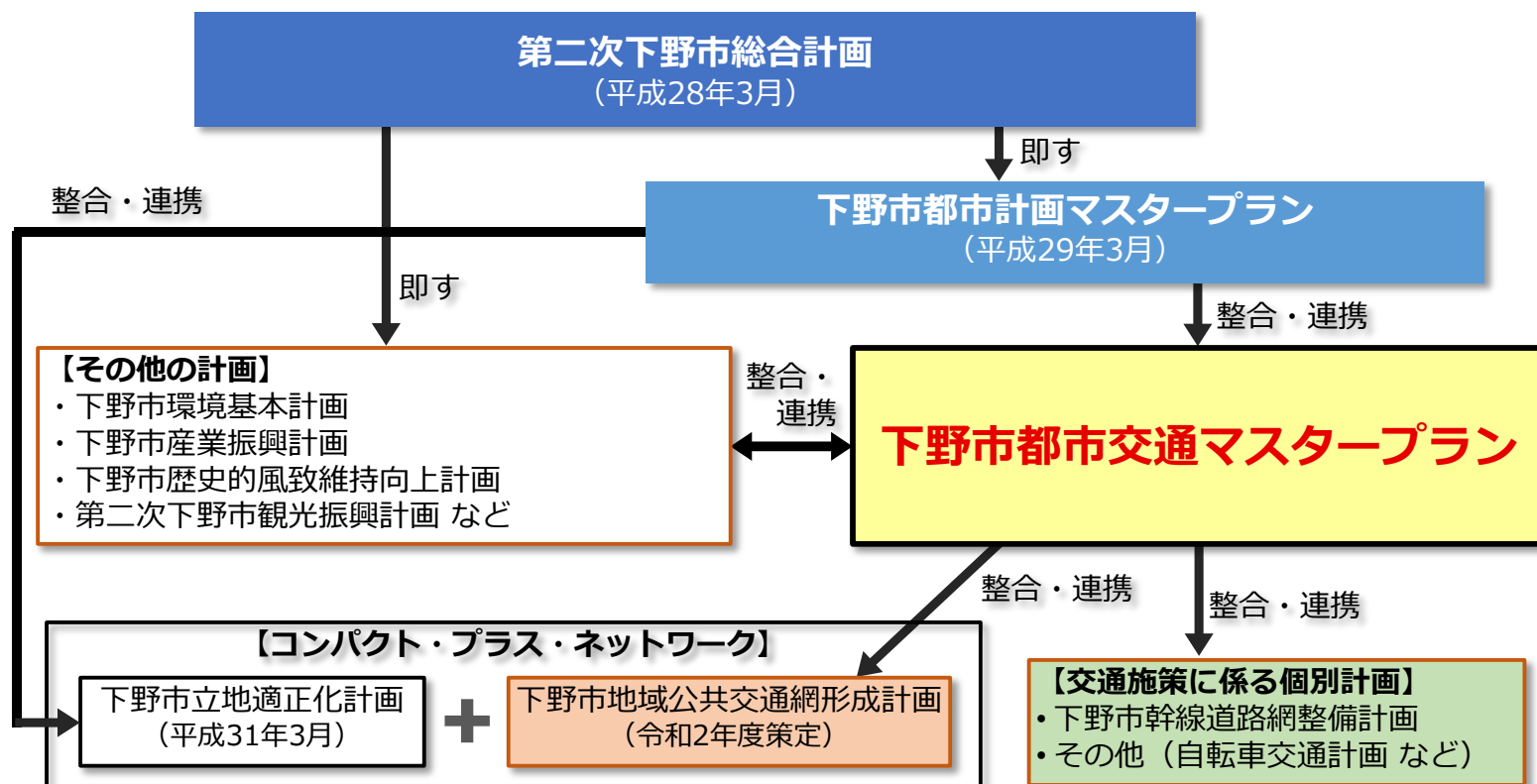
(2) 都市交通マスタープランの位置づけ

■ 都市交通マスタープランの位置づけ

- 都市交通マスタープランは、「第二次下野市総合計画」や「下野市都市計画マスタープラン《改定版》」で定められた**将来都市像の実現やまちづくり構想、分野別方針等の実現を図る**ために、交通部門として今後実施すべき交通施策の基本方針となるものです。
- 都市交通マスタープランに盛り込まれた施策については、関係者相互で調整・連携を図り、協働して施策の実現に努めるものとします。

■ **計画の期間**：概ね20年後（**2040年**）とする。

■ **計画対象区域**：下野市全域とする。

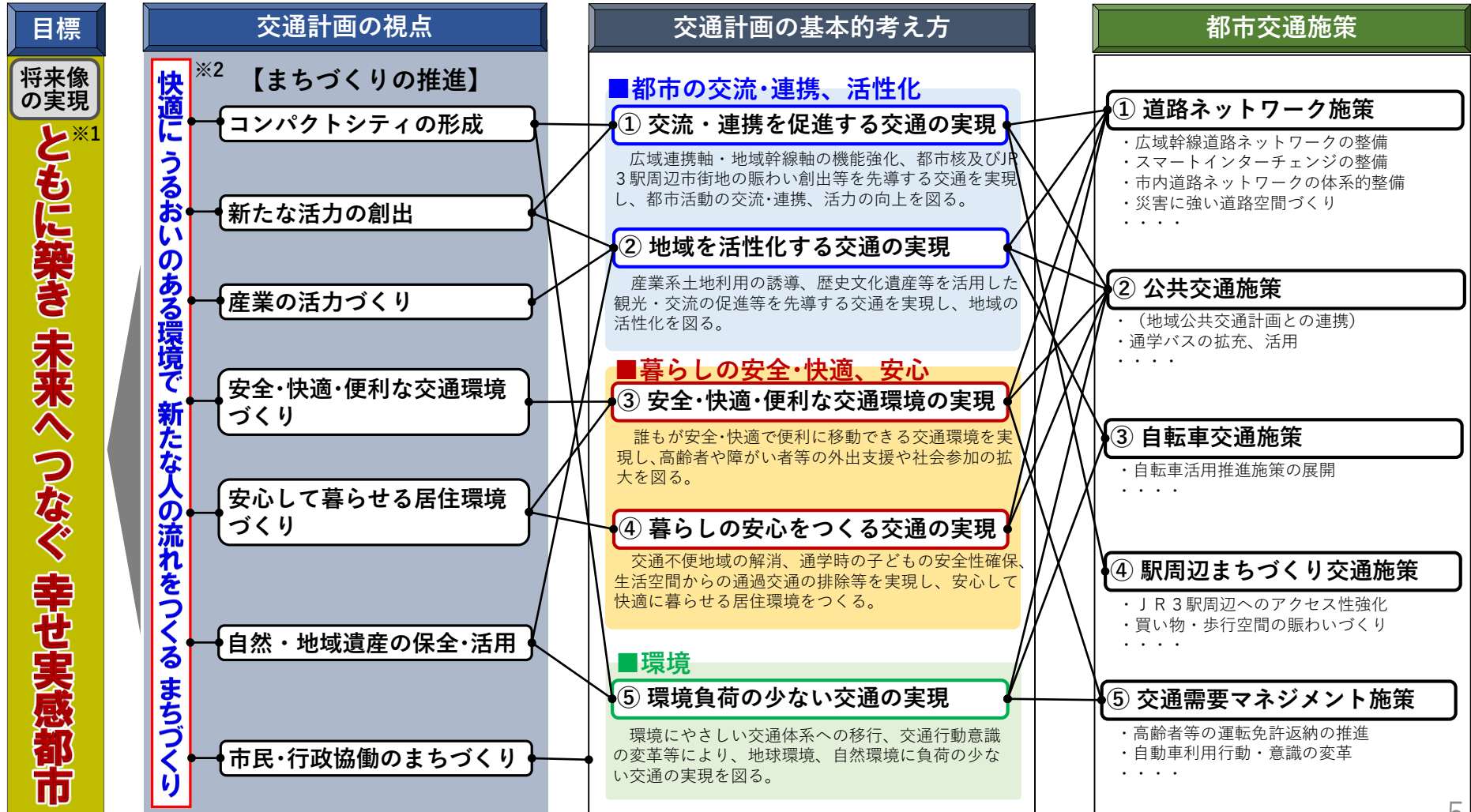


1.都市交通マスタープランの検討方針

(2) 都市交通マスタープランの位置づけ

■ 都市交通マスタープランのイメージ (例示)

- 都市交通マスタープランは、目指すべき**交通計画の目標**、その実現を図るための**交通計画の基本方針**（計画の視点、基本的考え方）、取り組むべき**都市交通施策**等を体系的にとりまとめるイメージである。

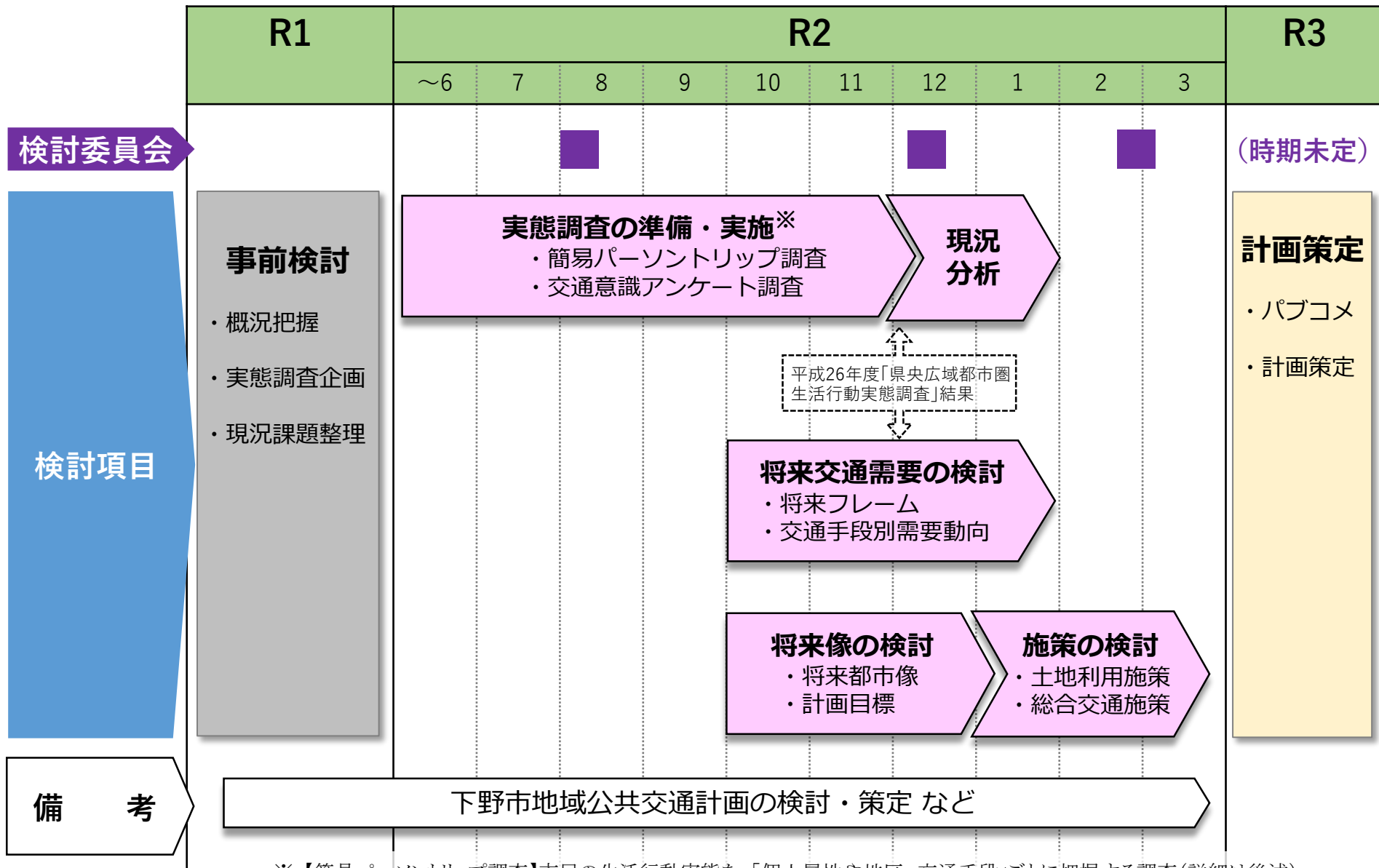


※1: 「第二次下野市総合計画」2016年3月より

※2: 「都市計画マスタープラン」2017年3月より

1.都市交通マスタープランの検討方針

(3) 検討項目とスケジュール

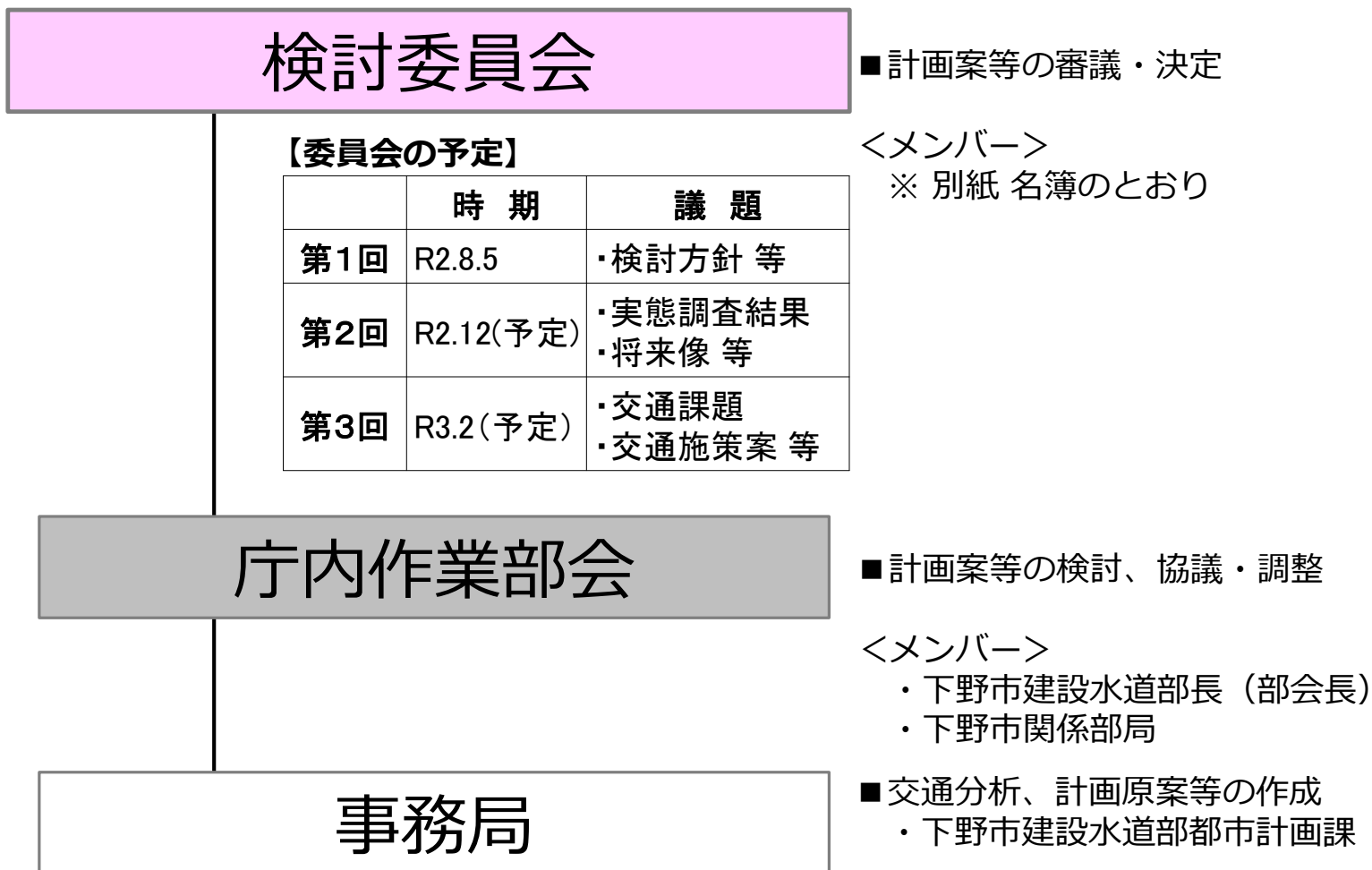


※:【簡易パーソントリップ調査】市民の生活行動実態を、「個人属性や地区、交通手段」ごとに把握する調査(詳細は後述)
 【交通意識アンケート調査】市民の「現況交通サービスの満足度やニーズ等」を把握する調査(詳細は後述)

1.都市交通マスタープランの検討方針

(4) 検討体制

- 都市交通マスタープランは、学識経験者、地元団体、交通事業者、関係行政機関、公募市民代表者からなる検討委員会を設置し検討を進める。



2.都市・交通の概況

(1)都市の概況

(2)交通の概況

2.都市・交通の概況

(1) 都市の概況

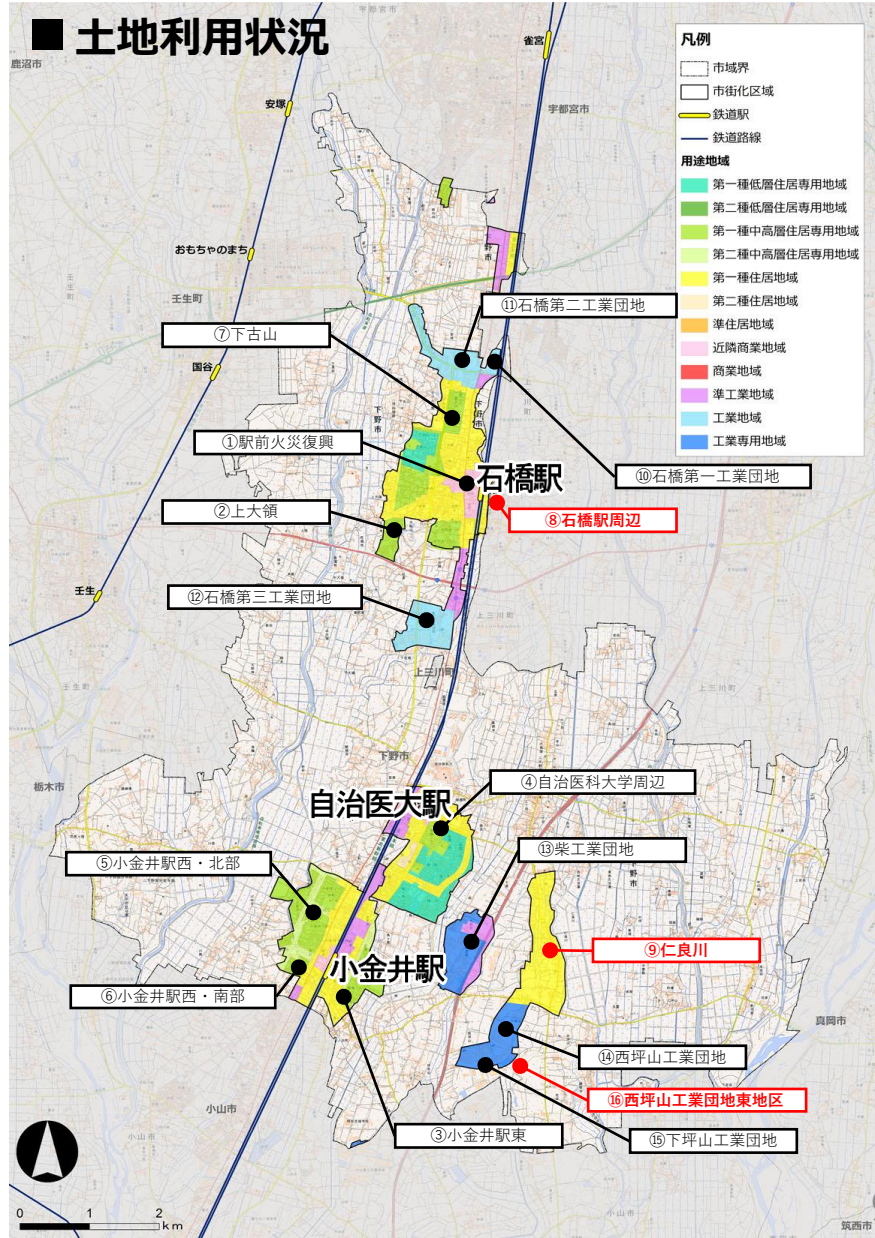
■ 土地利用、市街地整備の状況

- ・ JR 3 駅を中心とした JR 線沿線と新 4 号国道周辺が市街化区域となっている。
- ・ **石橋駅周辺地区**と**仁良川地区**では、土地区画整理事業が施行中である。
- ・ **西坪山工業団地東地区**では、産業団地の整備に向けて取り組み中である。

市街地整備事業	地区名・団地名
土地区画整理事業	① 駅前火災復興
	② 上大領
	③ 小金井駅東
	④ 自治医科大学周辺
	⑤ 小金井駅西・北部
	⑥ 小金井駅西・南部
	⑦ 下古山
	⑧ 石橋駅周辺
	⑨ 仁良川
工業団地整備事業	⑩ 石橋第一工業団地
	⑪ 石橋第二工業団地
	⑫ 石橋第三工業団地
	⑬ 柴工業団地
	⑭ 西坪山工業団地
	⑮ 下坪山工業団地
	⑯ 西坪山工業団地東地区

【施行中】

- ⑧ **石橋駅周辺地区**：公共施設の整備改善、宅地の利用増進を図り、健全で良好な市街地を造成。
- ⑨ **仁良川地区**：公共施設の整備改善を行い、居住環境の向上と良好な宅地を供給。
- ⑯ **西坪山工業団地東地区**：企業誘致を図る産業団地を整備。



2.都市・交通の概況

(1) 都市の概況

■ 都市機能・居住機能の誘導

・下野市では、JR3駅を都市機能の集積拠点となる核として、それらを公共交通でつなぐ“ネットワーク型コンパクトシティ”の形成を図ることを目指す。

【都市機能】 JR3駅周辺の市街化区域内に誘導

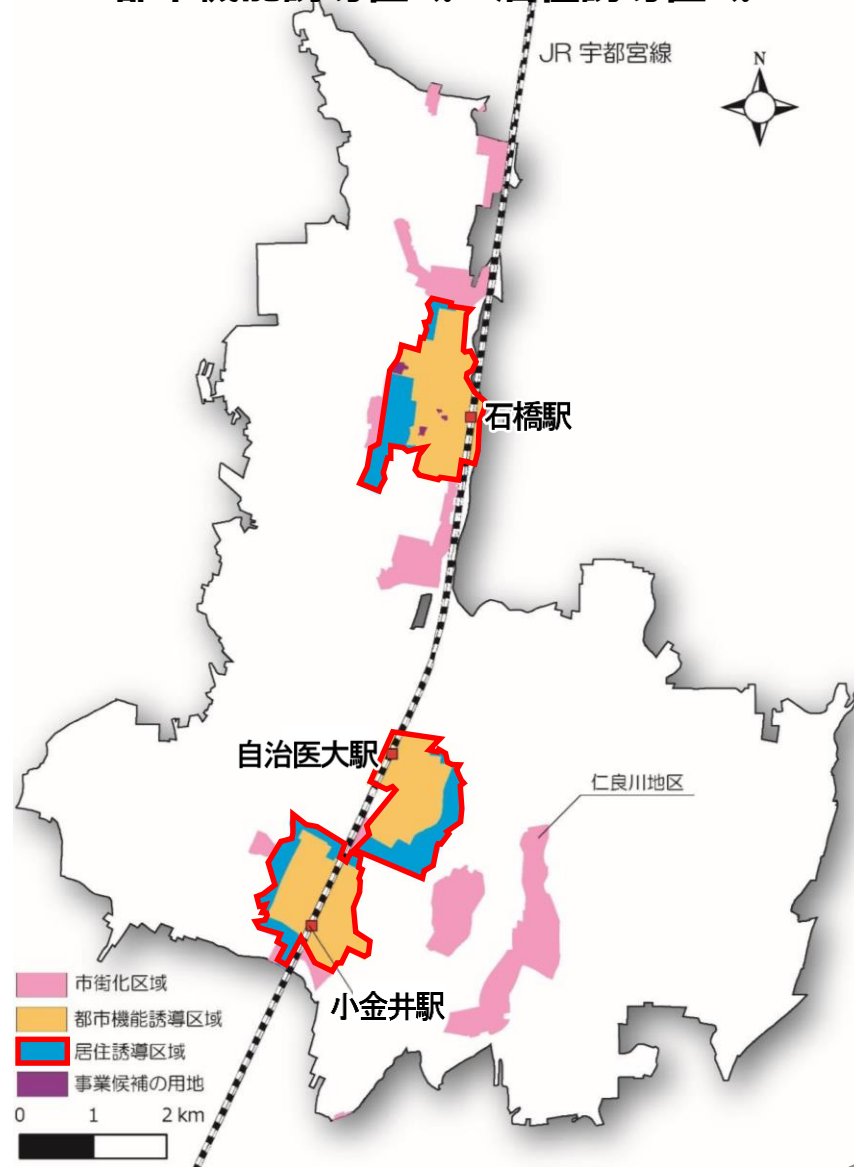
区分	主な誘導施設
自治医大駅周辺	社会福祉、商業、教育文化（複合コンベンション等）、医療等
石橋駅周辺	社会福祉、商業、教育文化（公民館等）、医療等
小金井駅周辺	社会福祉、商業、医療等

【居住機能】 JR3駅周辺に誘導

区分	設定の範囲
自治医大駅周辺	人口集積・密度ともに高いことから、市街化区域と同範囲で区域設定。
石橋駅周辺	工業系用途を除き、駅を中心とした概ね1.5kmの範囲で区域設定。
小金井駅周辺	駅から概ね1kmの範囲を目安とし、運動公園や小山車両センター等を除いて設定。

注) 仁良川地区は、土地区画整理事業により、良好な住環境が形成されており、現時点では法定の居住誘導区域は設定せず「郊外型居住区域」として若年層等の人口流入の受け皿とする。

■ 都市機能誘導区域・居住誘導区域



資料:「下野市立地適正化計画」(2019年3月)より

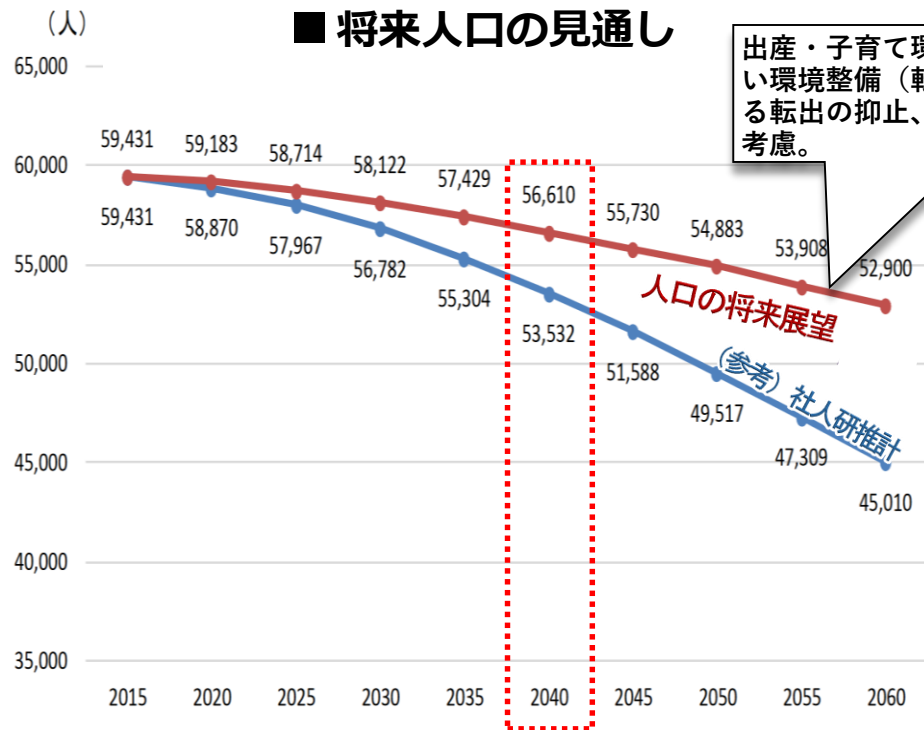
2.都市・交通の概況

(1) 都市の概況

■ 将来人口の動向

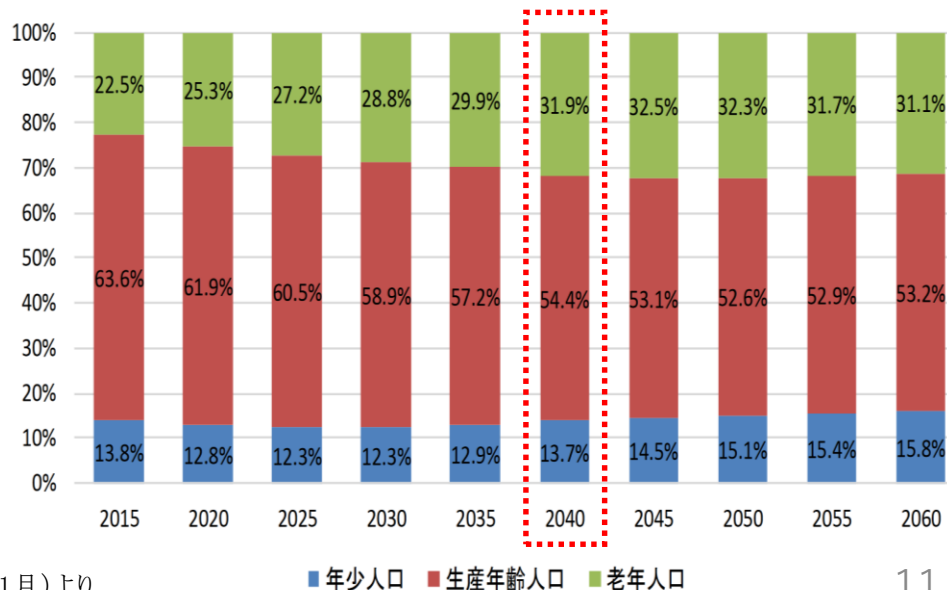
- ・人口は、増加傾向が続いていたが、2014年（H26）に減少に転じた。今後も緩やかに減少していくと見込まれる。人口減少の抑制、若年層の定住促進に向けた環境づくりが必要である。
- ・高齢者人口（65歳以上）の比率は、今後3割まで急速に増加していく。長寿・高齢社会を見据え、歩いて暮らせる生活環境づくり、公共交通の充実などが必要である。

■ 将来人口の見通し



出産・子育て環境づくり、Uターンしやすい環境整備（転入の促進）、雇用創出による転出の抑止、定住化の促進を図ることを考慮。

■ 年齢3区分別人口比率の見通し



資料:「下野市人口ビジョン」(2020年1月)より

■ 年少人口 ■ 生産年齢人口 ■ 老年人口

2.都市・交通の概況

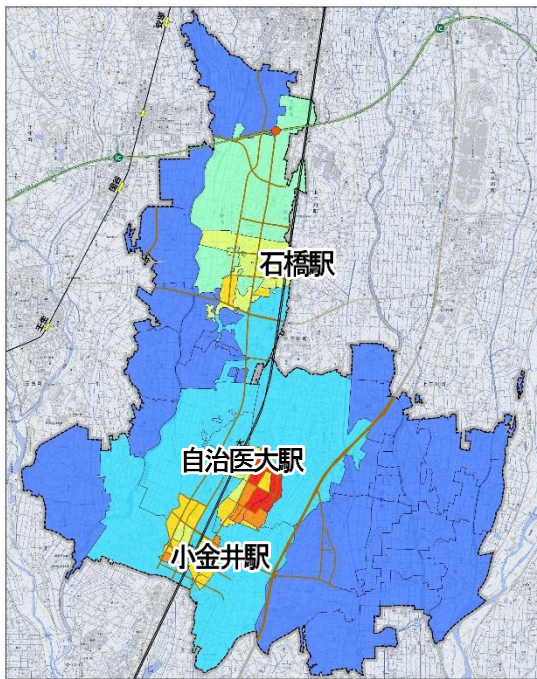
(1) 都市の概況

■ 人口分布

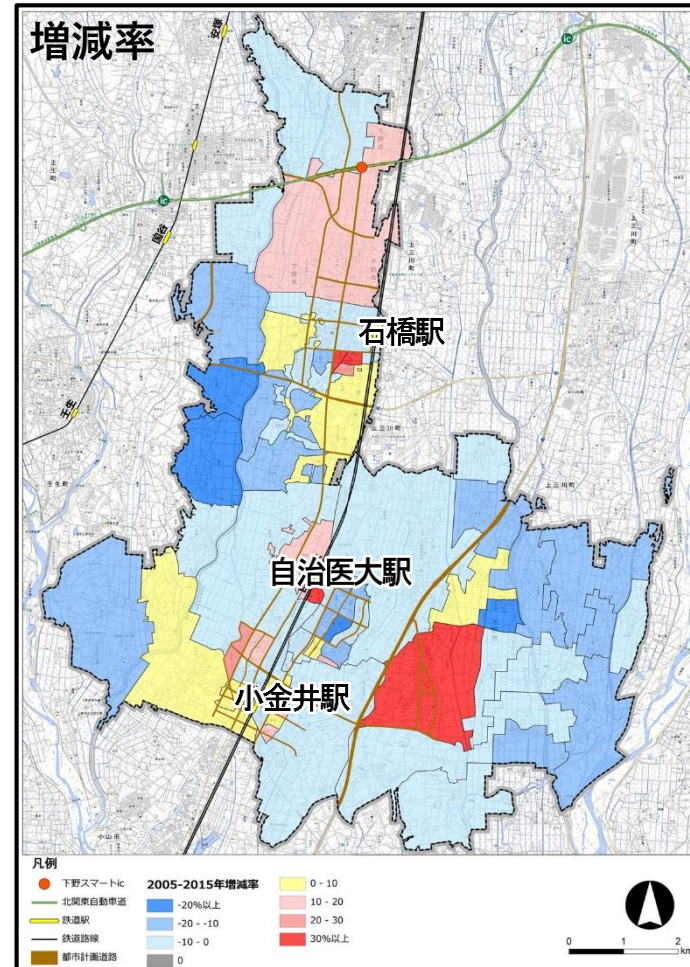
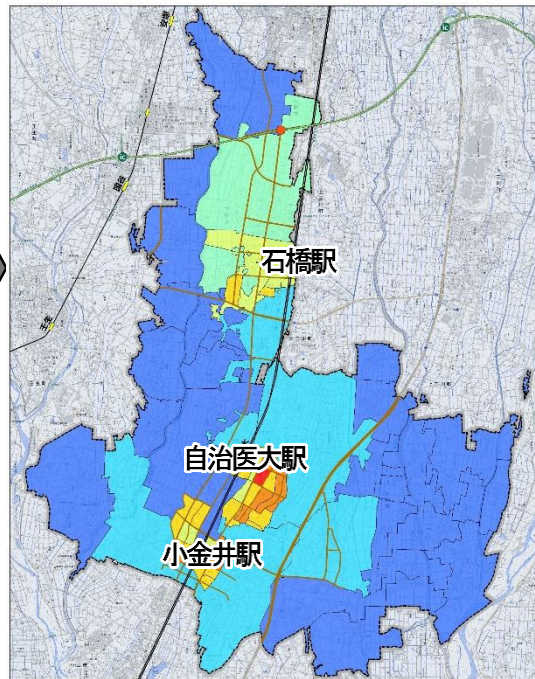
・人口密度は、JR3駅周辺で高い。JR3駅周辺（一部）と仁良川地区では人口増加もみられるが、これら外側の**人口密度の低い地域等では人口が減少傾向**となっている。「生活の足」の確保が困難になりつつある。

■ 人口密度の変化（2005年→2015年）

【2005年】



【2015年】



資料:各年「国勢調査」より

2.都市・交通の概況

(2) 交通の概況

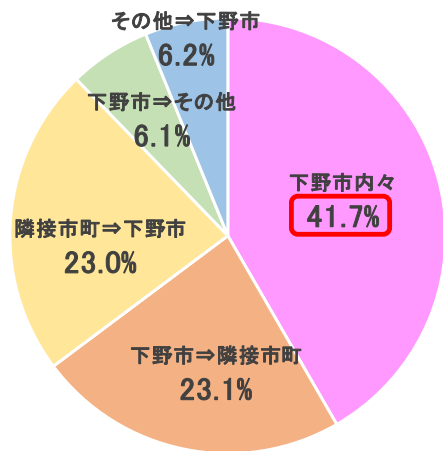
■ 広域・地域間の人の動き

- 「県央広域都市圏生活行動実態調査（H26）」及び「小山市パーソントリップ調査（2018年）」によれば、下野市に発着する人の**総移動量は約18万トリップ/日（平日）**となっている。
- このうち、下野市内々の移動量は約4割、**約6割が市外**（宇都宮市、小山市等）との移動である。
- 広域的移動、市内拠点間移動の利便性を確保するため、広域連携軸、地域幹線軸の強化が必要である。

■ 流動区分別人の移動量

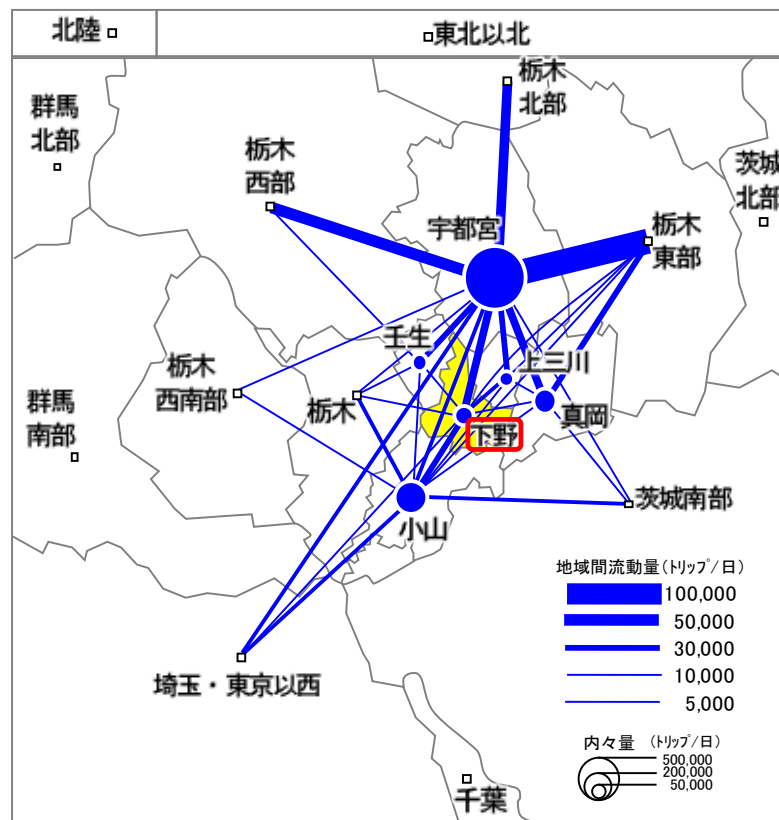
流動区分	トリップ数	
	(トリップ/日)	(%)
下野市内々	77,074	41.7%
下野市⇒隣接市町	42,741	23.1%
隣接市町⇒下野市	42,537	23.0%
下野市⇒その他	11,240	6.1%
その他⇒下野市	11,379	6.2%
合計	184,971	100.0%

注) 隣接市町とは、宇都宮市、小山市、壬生町、上三川町及び真岡市



(下野市発着合計 185千トリップ/日)

■ 人の移動パターン



注) 下野市及び隣接市町(栃木市を除く)外々の流動、3,000トリップ/日未満の流動は非表示

2.都市・交通の概況

(2) 交通の概況

■ 移動目的別の人の動き

【通勤 (約3万トリップ/日)】

- ・ **市内通勤 (約2割)** よりも、宇都宮市等の市外間の通勤が多い (約8割)。

【通学 (約1万トリップ/日)】

- ・ **市内通学が6割** と多い。市外間の通学も4割みられる。

【業務 (約1.5万トリップ/日)】

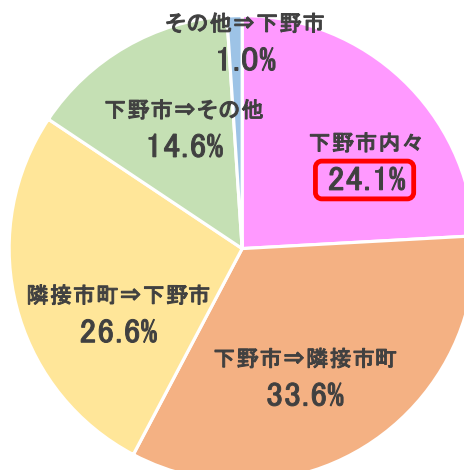
- ・ **市内々 (4割)** よりも、市外間が6割と多い。
※ 業務とは、営業、納品・仕入、会議等

【私事 (約5万トリップ/日)】

- ・ **市内々、市外間ともに5割**。
※ 私事とは、買い物・飲食、娯楽、通院等

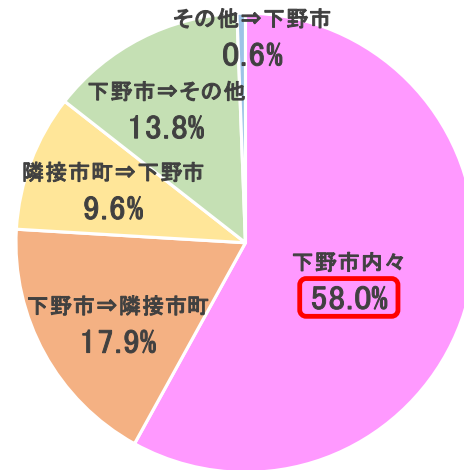
■ 目的別にみた人の流動状況

【通勤】



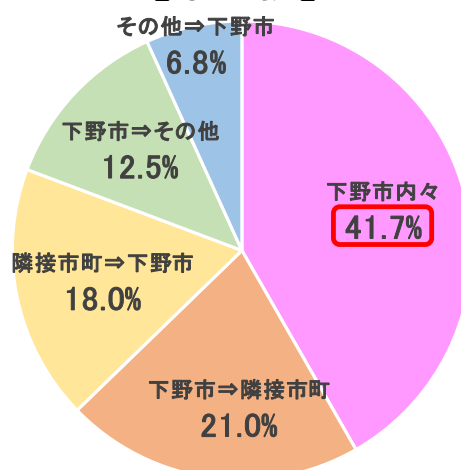
(下野市発着合計 30.5千トリップ/日)

【通学】



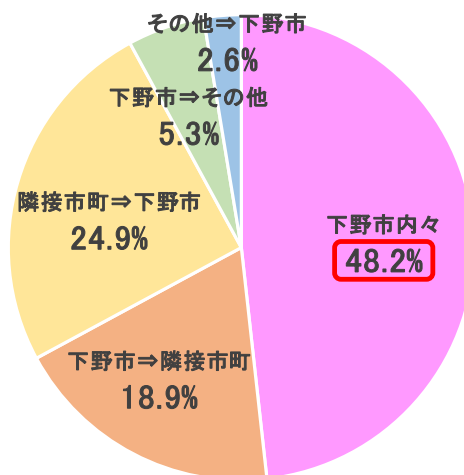
(下野市発着合計 10.6千トリップ/日)

【業務】

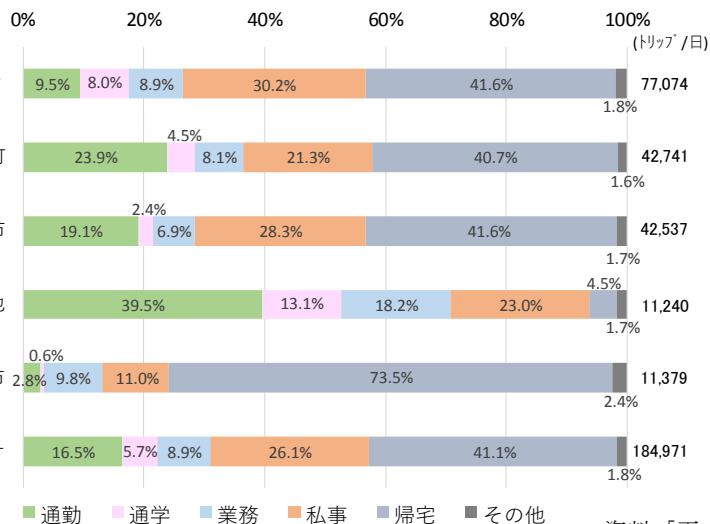


(下野市発着合計 16.4千トリップ/日)

【私事】



(下野市発着合計 48.3千トリップ/日)



資料:「平成26年度県央広域都市圏生活行動実態調査」及び「2018年度小山市パーソントリップ調査」より

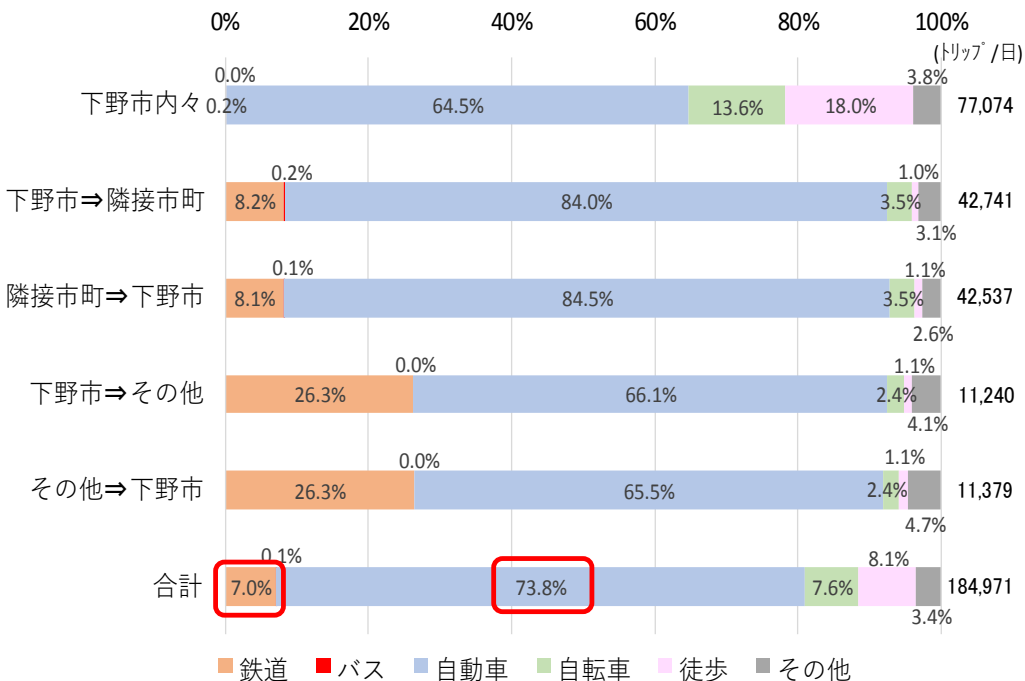
2.都市・交通の概況

(2) 交通の概況

■ 利用交通手段

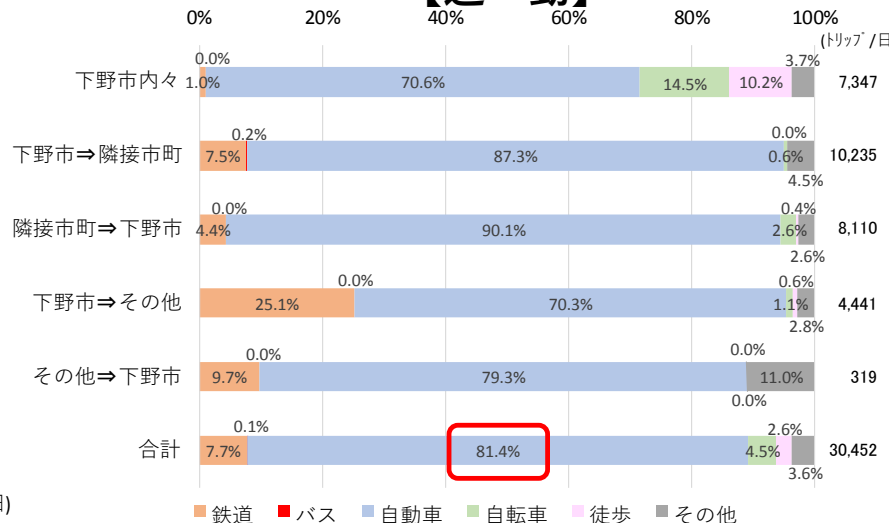
- ・人の移動における利用交通手段は、**約7割が自動車利用**である。**通勤**においても、8割が自動車利用である。
- ・**鉄道利用は約7%**と少ないが、市外間では多くの鉄道利用がみられる。特に、**通学**では、鉄道が多く利用されており、通学の重要な交通手段となっている。
- ・なお、**バス利用は、ほとんどみられない。**

【全目的】

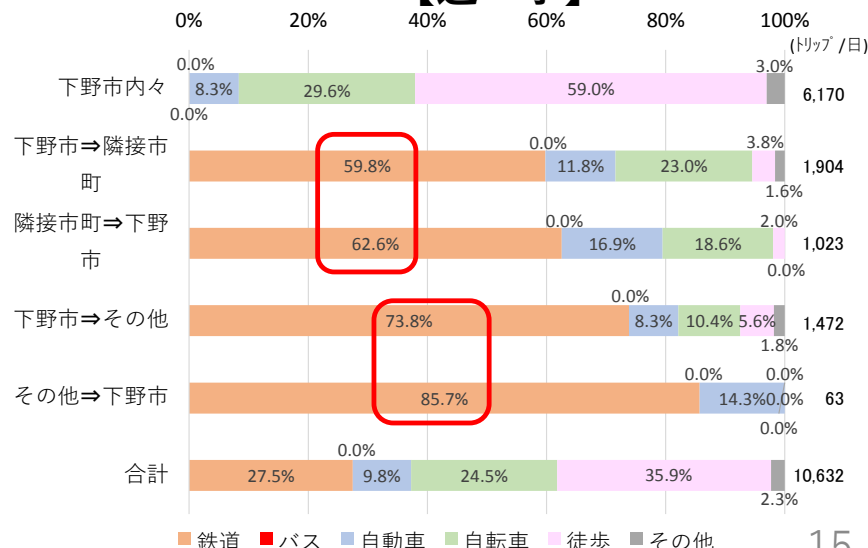


■ 利用交通手段割合

【通勤】



【通学】



資料:「平成26年度県央広域都市圏生活行動実態調査」及び「2018年度小山市パーソントリップ調査」より

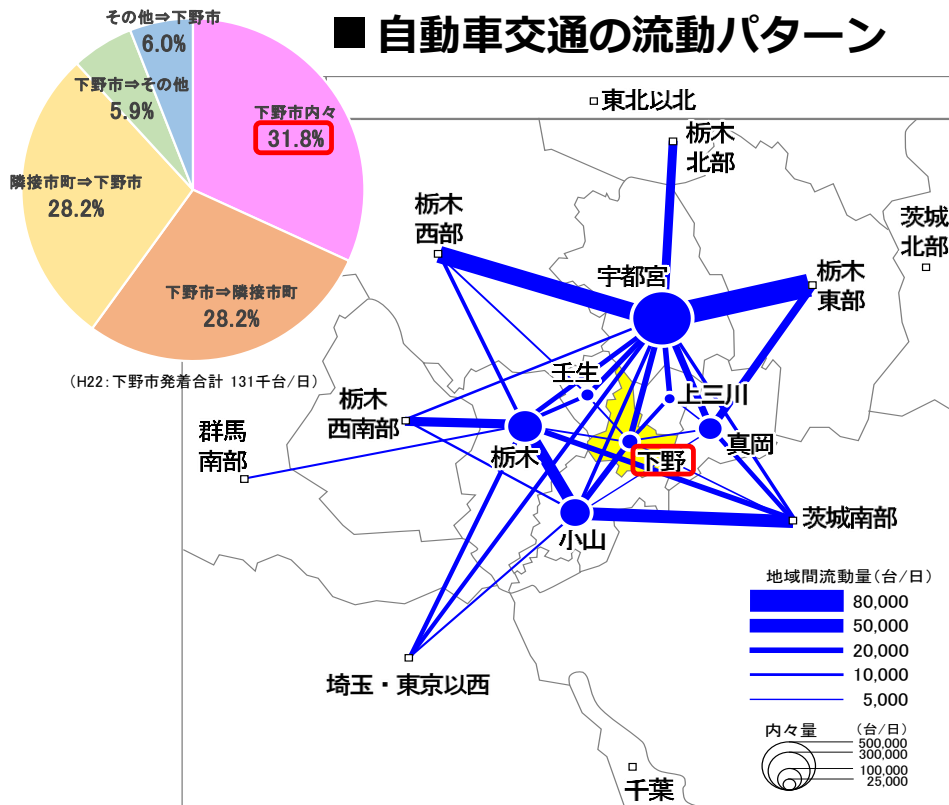
2.都市・交通の概況

(2) 交通の概況

■ 自動車交通需要と都市計画道路網等

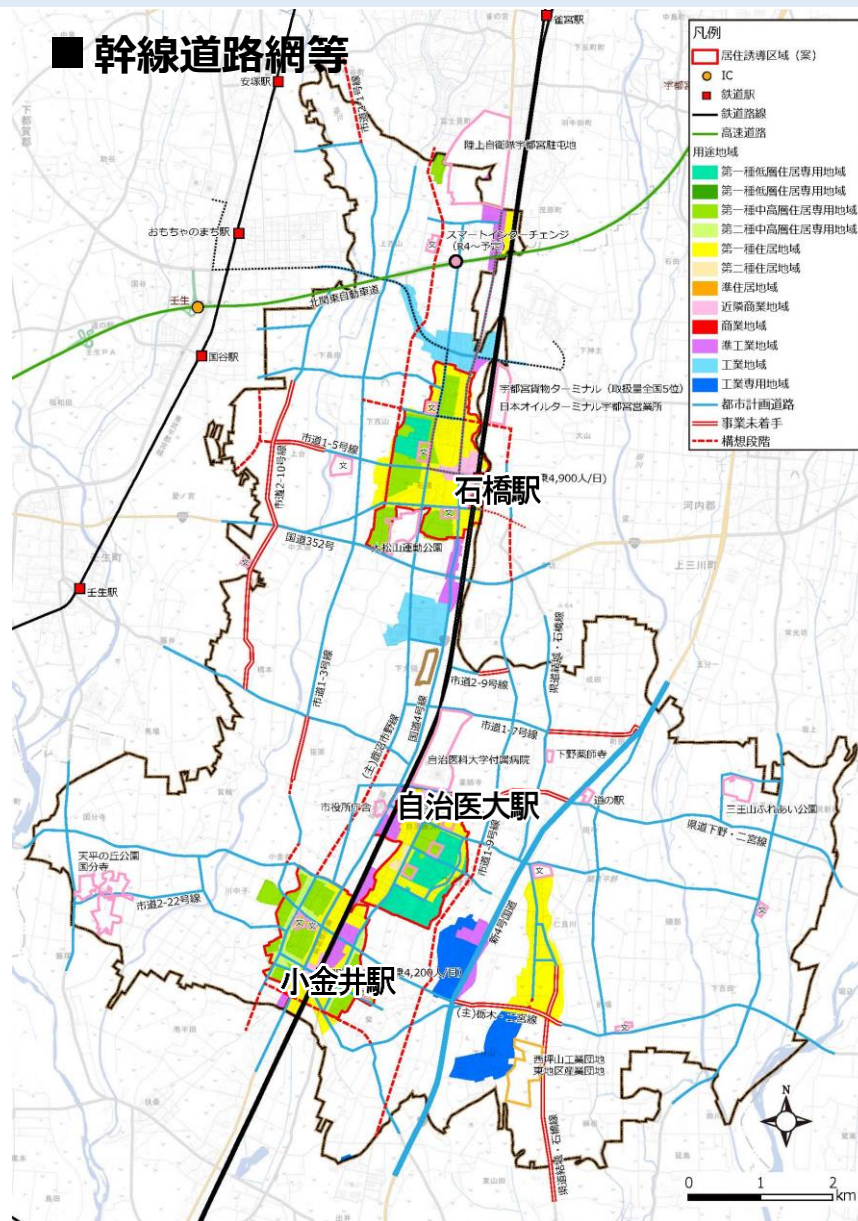
- 下野市に発着する自動車交通量（H22:約13万台トリップ/日）のうち、**3割が市内々流動**、**7割が市外間**（宇都宮市や小山市等）の流動である。
- 下野市の都市計画道路（36路線）の**整備率は、約73.7%**（H28）であり、各所に未着手路線がある。
- また、**構想段階の路線**も各所にある。

■ 自動車交通の流動パターン



資料:「平成22年度全国道路・街路交通情勢調査(道路交通センサス)」より

■ 幹線道路網等



資料:下野市資料より

2.都市・交通の概況

(2) 交通の概況

■ バス路線等の状況

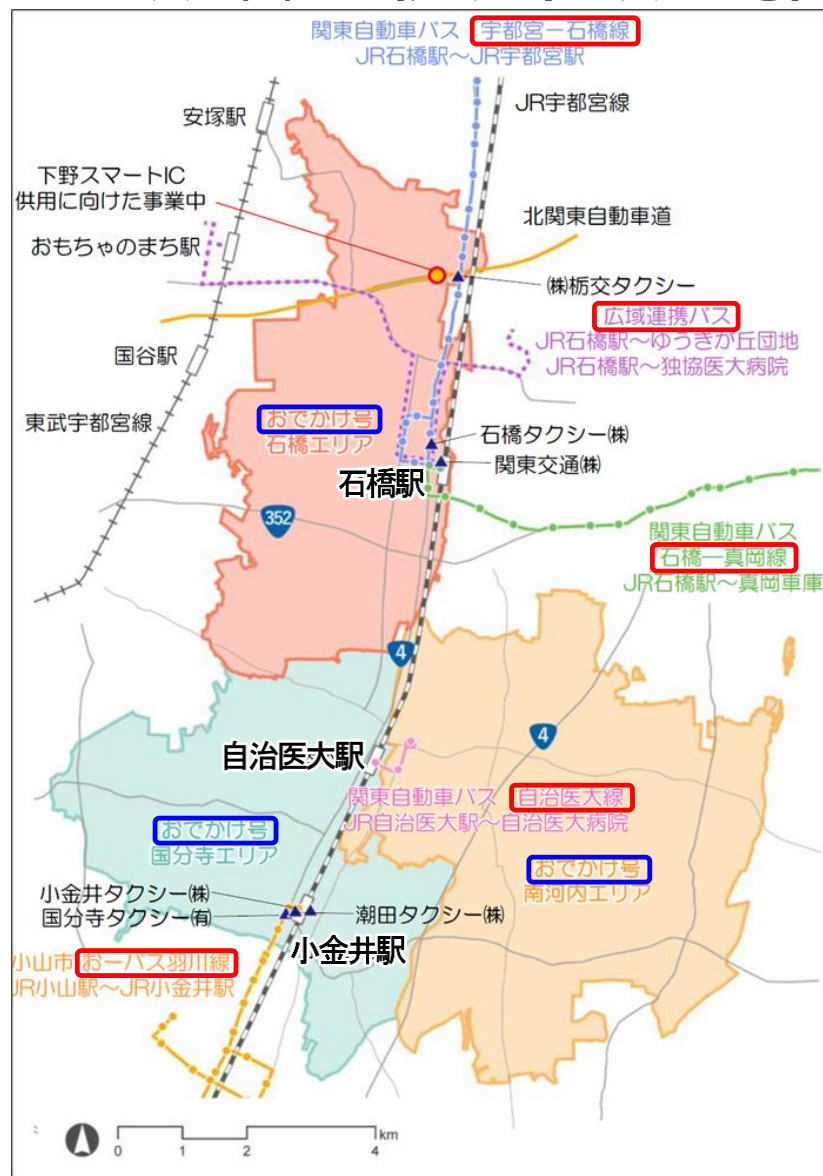
- 下野市では、**市内路線が1路線**（自治医大線）、**市外間が3路線**（宇都宮-石橋線、石橋-真岡線、広域連携バス「ゆうがおバス」）が運行されている。
- 市外間では、小山市とを結ぶ**コミュニティバス**（おーバス羽川線）も運行されている。
- また、市内3エリアで**デマンドバス**（おでかけ号）が運行されている。
- 主な路線バスの運行本数は、自治医大線では1時間に平均4本、ピーク時に7~8本と多いが、他の路線は、**1時間に1~2本、ピーク時に2~4本のバス**サービスとなっている。

■ 主なバス路線の運行本数

バス路線	方向	1時間平均運行本数	ピーク時運行本数
①石橋駅→宇都宮駅	下り	2	4
	上り	2	3
②石橋駅→真岡車庫	下り	1	2
	上り	1	3
③自治医大駅→自治医大	下り	4	8
	上り	4	7

資料: 関東自動車ホームページ「バス時刻表」より

■ バス路線網等（デマンドバスを含む）



資料: 令和元年度「第3回下野市地域公共交通会議」令和元年11月4日より

2.都市・交通の概況

(2) 交通の概況

■ 高齢者交通の増加

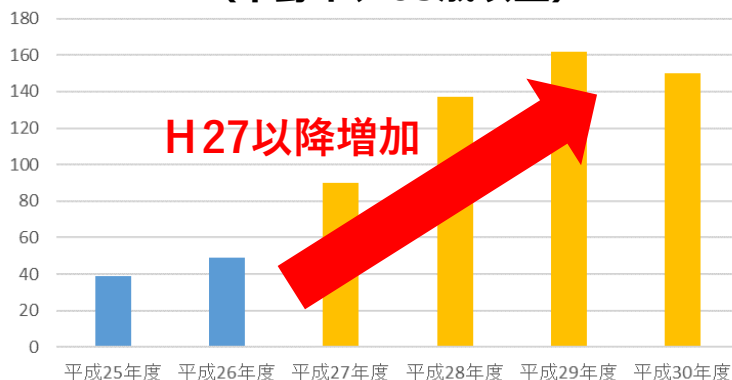
- ・ 高齢者（65歳以上）の移動量は、約3.5万トリップ/日で、全市総移動量の約2割を占めている。
- ・ 移動パターンは、市内々、市外間が共に5割であり、広域的な移動も多い。
- ・ 利用交通手段は、概ね7割が自動車利用であり、ドア・ツー・ドアニーズが強い高齢者にとって、自動車は重要な交通手段になっている。
- ・ 高齢化の進展により、高齢者の自動車利用の増加、運転免許証自主返納増加等への対応が必要である。

■ 流動区分別高齢者の移動量

流動区分	高齢者のトリップ数		
	(トリップ/日)	(%)	
下野市内々	18,547	53.1%	40.3%
下野市⇒隣接市町	7,085	20.3%	
隣接市町⇒下野市	6,984	20.0%	6.5%
下野市⇒その他	1,094	3.1%	
その他⇒下野市	1,190	3.4%	
合計	34,900	100.0%	

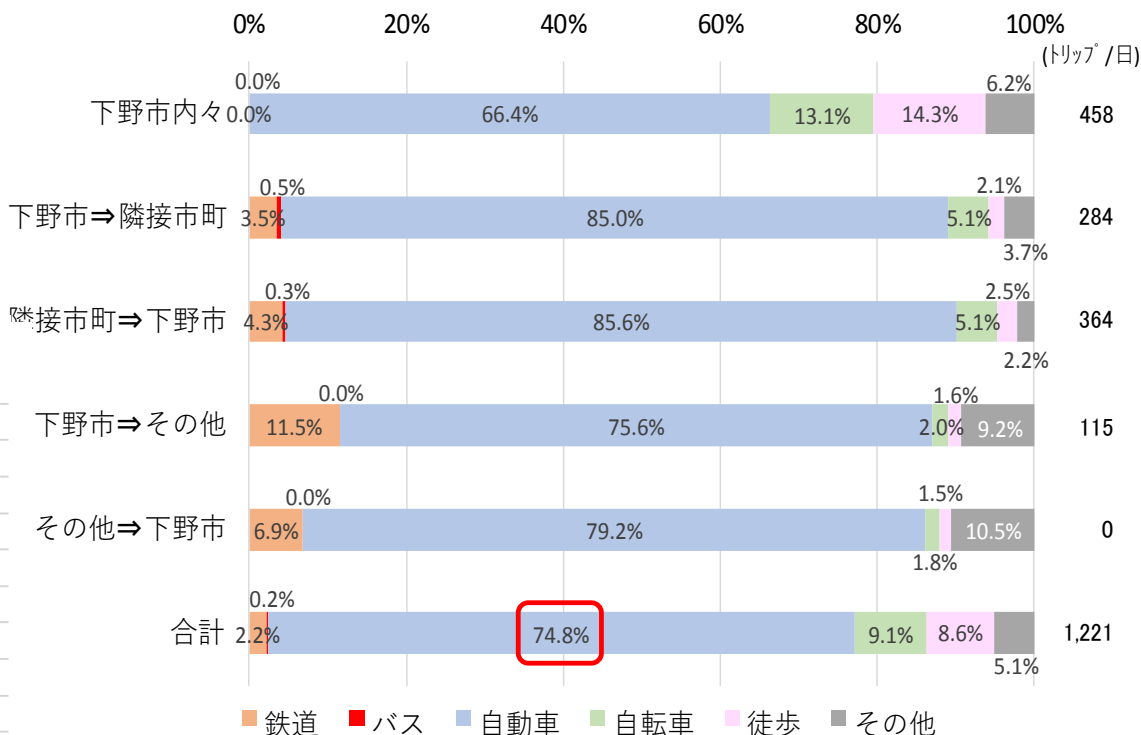
注)隣接市町とは、宇都宮市、小山市、壬生町、上三川町及び真岡市

■ 運転免許証自主返納者数の推移 (下野市、65歳以上)



資料：下野市資料より

■ 高齢者の交通手段別利用割合



資料：「平成26年度県央広域都市圏生活行動実態調査」及び「2018年度小山市パーソントリップ調査」より

3.交通実態調査の概要

(1)簡易パーソントリップ調査(PT調査)

(2)交通意識アンケート調査

3.交通実態調査の概要

(1) 簡易パーソントリップ調査 (PT調査)

項目	内容	備考
① 調査の目的	・ 都市交通課題、施策立案の検討基礎データとなる 市民の生活行動実態 を、「 個人属性 や 地区 、 交通手段 」ごとに把握する。	
② 調査対象地域	・ 市内全域	
③ 調査対象者	・ 満5歳以上(令和2年10月1日現在)の市民とし、住民基本台帳から無作為に抽出。	
④ 調査規模	・ 調査対象世帯数: 約1,300世帯(約3,100人) 、回収目標:約750人(回収率:約25%)	
⑤ 調査時期	・ 令和2年 10月 (調査日:火~木の平日)	
⑥ 調査手法	・ 郵送配布・回収	
⑦ 調査項目	【 個人属性 】性別、年齢、職業、自動車運転免許の有無、自由に使える自動車の有無 等	世帯票
	【 移動実態 】 移動目的 、 出発地 ・ 目的地 、 利用交通手段 、目的地の施設、 出発時刻 ・ 到着時刻 等 ※ 次ページ参照	個人票

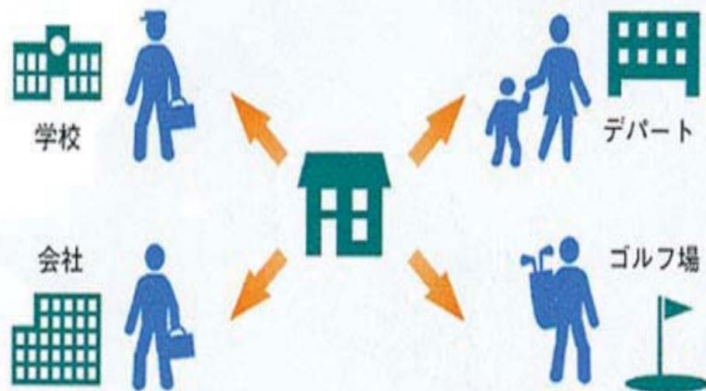
3.交通実態調査の概要

(1) 簡易パーソントリップ調査 (PT調査)

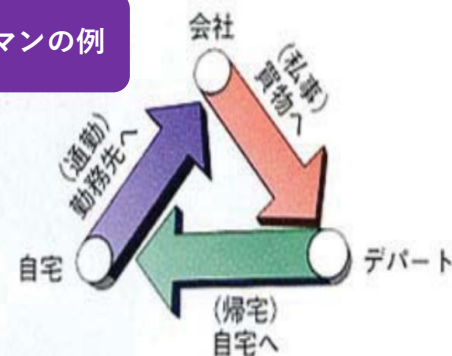
■調査項目

区分	主な調査項目	調査票
個人属性	性別、年齢、職業、自動車運転免許の有無、自由に使える自動車の有無等	世帯票
移動実態	移動目的、出発地・目的地、利用交通手段、目的地の施設、出発時刻・到着時刻等	個人票

どのような人がどこからどこへどのような目的で動いているか



サラリーマンの例



子供の例



どのような交通機関が利用されているか



人は何時頃動いているか



秘 下野市交通実態調査
パーソントリップ調査
世帯票

- 記入についてのお願い
- 鉛筆または黒のボールペンで記入してください。
 - 回答は、の部分(回答欄)に記入してください。
 - 回答欄に がついている場合は、指定する表からあてはまる番号を選んで記入してください。

※ここには記入不要です

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

この調査は、将来の交通計画やまちづくりを検討するための基礎資料を得ることを目的に行います。記入されたことをそのまま公開することはありません。

1 あなたの世帯の現住所についてお答えください。

現住所 **下野市** 町 丁目

2 あなたの世界の方全員について、お答えください。 ※いちばん左の欄に記入されている何人目かは、別紙の「個人票」にも記入します。

世帯構成人員	(1) 性別	(2) 年齢 (令和2年5月1日現在)	(3) 職業 表1 からの選択	(4) 就業形態 (3)で「1」～「3」のみ 選んだ方のみ 表2 からの選択	(5) 自動車運転免許 の保有状況 ※バイク・原付を除く	(6) 自由に使える自動車の有無 ※(5)で「1」を選んだ方のみ
(記入例)	① 男 2 女	38 歳	3	2	① 持っている 2 持っていない 3 返納した	1 ほぼ自分専用の自動車がある 2 家族共有の自動車がある 3 ない
1人目 世帯主	1 男 2 女	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/>	<input type="text"/>	1 持っている 2 持っていない 3 返納した	1 ほぼ自分専用の自動車がある 2 家族共有の自動車がある 3 ない
2人目	1 男 2 女	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/>	<input type="text"/>	1 持っている 2 持っていない 3 返納した	1 ほぼ自分専用の自動車がある 2 家族共有の自動車がある 3 ない
3人目	1 男 2 女	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/>	<input type="text"/>	1 持っている 2 持っていない 3 返納した	1 ほぼ自分専用の自動車がある 2 家族共有の自動車がある 3 ない
4人目	1 男 2 女	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/>	<input type="text"/>	1 持っている 2 持っていない 3 返納した	1 ほぼ自分専用の自動車がある 2 家族共有の自動車がある 3 ない
5人目	1 男 2 女	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/>	<input type="text"/>	1 持っている 2 持っていない 3 返納した	1 ほぼ自分専用の自動車がある 2 家族共有の自動車がある 3 ない
6人目	1 男 2 女	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/>	<input type="text"/>	1 持っている 2 持っていない 3 返納した	1 ほぼ自分専用の自動車がある 2 家族共有の自動車がある 3 ない

表1 職業

1. 農林業・漁業・鉱業等 (第一次産業従事者)
2. 製造業・建設業・工業等 (第二次産業従事者)
3. サービス業・公務等 (第三次産業従事者)
4. 園児・生徒・学生など
5. 主婦・主夫 (職業従事者を除く)
6. 無職
7. その他

表2 就業形態

1. 自営業主・家族事業者
2. 正規の職員・従業員
3. 派遣社員・契約社員等
4. パート・アルバイト
5. 会社等の役員
6. その他

ご不明な点がありましたら、以下までお問い合わせください

(フリーダイヤル 0120-0000-0000 午前9時～午後6時(土日・祝日を除く))

3. 交通実態調査の概要

(参考) 簡易パーソントリップ調査 (PT調査) 世帯調査票

3. 交通実態調査の概要

(参考) 簡易パーソントリップ調査 (PT調査) 個人調査票

④ 下野市交通実態調査 パーソントリップ調査 個人票

- 記入についてのお願
- ・鉛筆または黒のボールペンで記入してください。
 - ・回答は、 の部分(回答欄)に記入してください。
 - ・回答欄に「 」がついている場合は指定する表からあてはまる番号を選んで記入してください。
 - ・回答欄に番号がついている場合は、あてはまる番号を○で囲んでください。

※ここには記入不要です

この調査は、将来の交通計画やまちづくりを検討するための基礎資料を得ることを目的としています。記入されたことをそのまま公開することはありません。

A はじめに、お答え下さい。【5歳以上の方(令和2年5月1日現在)一人ひとりのご記入ください】

(1) 調査日(午前3時から翌日の午前3時まで) 同封の「調査のご説明」に記載されたあなたの調査日を記入 月 日 曜日

(2) あなたは、「世帯票」に記載された方の何人目となりますか。 人目

(3) あなたの勤務先・通学先・通園先の住所は ※「世帯票」の(3)で「1、2、3、4」を選んだ方のみ

都道 府県 市区 町村 町 字 丁目

B 調査日のはじめにいた場所(調査日の午前3時にいた場所)

(1) 具体的な場所は

1 自宅 2 勤務先・通学先・通園先 3 それ以外 → それ以外の場合は【住所】または【建物名】を記入

【はじめにいた場所の住所】 都道 府県 市区 町村 町 字 丁目

【はじめにいた建物の名称】

※表1から選択 []

(2) はじめにいた場所の施設の種類の

C 調査日の外出

1 外出した → 翌日の午前3時までの、全ての移動を、順番に、記入してください。1へ

2 外出しなかった → 外出しなかった方は、以下に回答して、終わります。協力ありがとうございます。

1 外出しなかった理由は、休暇、在宅作業、外出用事なし等のため(下記の2以外)

2 外出しなかった理由は、新型コロナウイルス感染症防止への対応のため

1 1 番目の移動 (1) 目的地は

1 自宅 2 勤務先・通学先・通園先

3 それ以外 → それ以外の場合は【住所】または【建物名】を記入

【目的地の住所】 都道 府県 市区 町村 町 字 丁目

【目的地の建物の名称】

※表1から選択 []

(2) 目的地の施設の種類の

※表1から選択 []

2 2 番目の移動 (1) 目的地は

1 自宅 2 勤務先・通学先・通園先

3 それ以外 → それ以外の場合は【住所】または【建物名】を記入

【目的地の住所】 都道 府県 市区 町村 町 字 丁目

【目的地の建物の名称】

※表1から選択 []

(2) 目的地の施設の種類の

※表1から選択 []

裏面にお読み下さい。

表1 施設の種類の

- 生活系施設
 - 1.住宅・保育・文化施設
 - 2.学校・保育・文化施設
 - 3.医療施設
 - 4.高齢福祉施設
 - 5.公園・自然遊・スポーツ施設等
 - 6.その他の生活系施設
- 商業系施設
 - 7.大規模小売店(百貨店・スーパー)
 - 8.小規模小売店(コンビニ、個人商店)
 - 9.宿泊施設・ホテル
 - 10.飲食施設
 - 11.アミューズメント施設
 - 12.その他の商業系施設
- 業務系・工業系施設
 - 13.事務所・会社・銀行
 - 14.官公庁施設
 - 15.その他の業務系・工業系施設

表2 移動目的

- 通勤・通学
 - 1.勤務先へ(出勤・帰社)
 - 2.通学先へ(登校・帰校)
- 買物・食事・社交等
 - 3.日用品の買物へ
 - 4.日用品以外の買物へ
 - 5.食事・社交へ
 - 6.文化活動へ
- 通院・介護等
 - 7.通院・リハビリへ
 - 8.デイサービスへ
 - 9.他者の用事のつきそい
 - 10.他者の送り迎え
- その他の私的な活動
 - 11.塾・習い事・学習へ
 - 12.散歩・ジョギング・運動へ
 - 13.観光・行楽・レジャーへ
 - 14.地頭活動・ボランティアへ
 - 15.その他の私用へ
- 業務
 - 16.打合せ・会議・商談へ
 - 17.販売・配達・仕入・購入先へ
 - 18.その他の業務へ
 - 19.その他(備考)

表3 交通手段

- 徒歩・二輪車
 - 1.徒歩(自転車含む)
 - 2.自転車(個人所有)
 - 3.レンタル自転車・コミュニティサイクル
 - 4.バイク(原動機付自転車・自動二輪)
 - 5.鉄道・路面電車
 - 6.路面電車
- バス
 - 7.路線バス・コミュニティバス
 - 8.デマンドバス(おでかけ号)
 - 9.高速バス
 - 10.自家用バス・貸切バス(企業等の送迎バスを含む)
- 自動車
 - 11.乗用車・軽乗用車
 - 12.貨物自動車・軽貨物車
 - 13.レンタルカー・カーシェアリング
 - 14.タクシー・ハイヤー
 - 15.その他

3.交通実態調査の概要

(2) 交通意識アンケート調査

項目	内容	備考
① 調査の目的	・ 市民の合意・納得が得られる施策立案の基礎データとなる 市民の「現況交通サービスの満足度やニーズ等」 を把握する。	
② 調査対象地域	・ 市内全域	
③ 調査対象者	・ 満15歳以上(令和2年10月1日現在)の市民とし、調査対象世帯は、住民基本台帳から無作為に抽出 ※ 小規模PT調査対象と異なる世帯を抽出	
④ 調査規模	・ 調査対象世帯数: 約670世帯(約1,400人) 、回収目標:約570人(回収率:約40%)	
⑤ 調査時期	・ 令和2年 10月	
⑥ 調査手法	・ 郵送配布・回収	
⑦ 調査項目	【個人属性】性別、年齢、職業、自動車運転免許の有無、自由に使える自動車の有無 等	世帯票
	【意識・ニーズ】交通手段ごとの、利用頻度・目的、 現況交通サービスに対する満足度、改善ニーズ 自動車利用抑制への協力・条件、今後重点的に取り組むべき交通課題、新型コロナウイルス感染拡大の影響 等	個人票

【秘】下野市交通実態調査
交通意識アンケート調査
世帯票

- 記入についてのお願ひ
- 鉛筆または黒のボールペンで記入してください。
 - 回答は、の部分(回答欄)に記入してください。
 - 回答欄に()がついている場合は、指定する表からあてはまる番号を選んで記入してください。

※ここには記入不要です

この調査は、将来の交通計画やまちづくりを検討するための基礎資料を得ることを目的としています。記入されたことをそのまま公開することはありません。

1 あなたの世帯の現住所についてお答えください。

現住所 町 丁目

2 あなたの世界の方全員について、お答えください。 ※いちばん左の欄に記入されている何人目かは、別紙の「個人票」にも記入します。

世帯構成人員	(1) 性別	(2) 年齢 (令和2年5月1日現在)	(3) 職業 表1から選択	(4) 就業形態 (3)で「1」～「3」を選んだ方のみ 表2から選択	(5) 自動車運転免許の保有状況 ※バイク・原付を除く	(6) 自由に使える自動車の有無 ※(5)で「1」を選んだ方のみ
(記入例)	① 男 2 女	38 歳	[3]	[2]	① 持っている 2 持っていない 3 返納した	1 ほぼ自分専用の自動車がある ② 家族共用の自動車がある 3 ない
1人目 世帯主	1 男 2 女	歳	[]	[]	1 持っている 2 持っていない 3 返納した	1 ほぼ自分専用の自動車がある 2 家族共用の自動車がある 3 ない
2人目	1 男 2 女	歳	[]	[]	1 持っている 2 持っていない 3 返納した	1 ほぼ自分専用の自動車がある 2 家族共用の自動車がある 3 ない
3人目	1 男 2 女	歳	[]	[]	1 持っている 2 持っていない 3 返納した	1 ほぼ自分専用の自動車がある 2 家族共用の自動車がある 3 ない
4人目	1 男 2 女	歳	[]	[]	1 持っている 2 持っていない 3 返納した	1 ほぼ自分専用の自動車がある 2 家族共用の自動車がある 3 ない
5人目	1 男 2 女	歳	[]	[]	1 持っている 2 持っていない 3 返納した	1 ほぼ自分専用の自動車がある 2 家族共用の自動車がある 3 ない
6人目	1 男 2 女	歳	[]	[]	1 持っている 2 持っていない 3 返納した	1 ほぼ自分専用の自動車がある 2 家族共用の自動車がある 3 ない

表1 職業

1. 農林業・漁業・鉱業等 (第一次産業従事者)
2. 製造業・建設業・工業等 (第二次産業従事者)
3. サービス業・公務等 (第三次産業従事者)
4. 園児・生徒・学生など
5. 主婦・主夫 (職業従事者を除く)
6. 無職
7. その他

表2 就業形態

1. 自営業主・家族事業者
2. 正規の職員・従業員
3. 派遣社員・契約社員等
4. パート・アルバイト
5. 会社等の役員
6. その他

ご不明な点がありましたら、以下までお問い合わせください

(フリーダイヤル 0120-0000-0000 午前9時～午後6時(土日・祝日を除く))

3. 交通実態調査の概要

(参考) 交通意識アンケート調査 世帯調査票

3.交通実態調査の概要

(参考) 交通意識アンケート調査 個人調査票 (1/2)

記入について
のお願い

- 鉛筆または黒のボールペンで記入してください。
- 15歳以上の方が一人ひとり、それぞれの調査票に記入してください。
- 回答は、の部分(回答欄)に記入してください。
- 回答欄に番号がある場合は、あなたのことに近い内容の番号を○で囲んでください。
- 回答欄がの場合は、具体的に数字や文字を記入してください。

④下野市交通実態調査
交通意識アンケート調査
個人票

この調査は、将来の交通計画やまちづくりを検討するための基礎資料を得ることを目的としています。記入されたことをそのまま公開することはありません。

※ここには記入不要です。

--	--	--	--	--	--

【ご注意】各問への回答は、最近1カ月～2カ月程度のことについて、お答えください。

▶ 問1 あなたは、「世帯票」に記載されたご家族の何人目となりますか。 → 人目
※「世帯票」の1人目～6人目からお答え下さい。

1 最初に、「鉄道」で出かけるときのことについて、お聞きます。

問2 自宅から出かけるとき(日曜日・祝日を除く)、鉄道に乗って出かけることはありますか。(番号1つに○印)

1. 週に5日以上ある	3. 週に1～2日はある	5. 年に数日はある
2. 週に3～4日はある	4. 月に1～3日はある	6. 鉄道では出かけない → 問6へお進み下さい。

問3 鉄道の乗って出かけるとき、最もよく使う鉄道駅は、どこですか。(駅名を記入)

駅

問4 鉄道に乗って出かけるときの目的は、何が最も多いですか。(番号1つに○印)

1. 通勤	4. 食事・社交・娯楽	7. その他私用(習い事など)
2. 通学	5. 観光・行楽・レジャー	8. 商用・営業・会議などの仕事・業務
3. 買い物	6. 通院	9. その他 → <input type="text"/>

問5 全体として、現状の鉄道や鉄道駅等の利用のしやすさや快適性などに満足していますか。(番号1つに○印)

1. 満足している	4. どちらともいえない
2. どちらかという満足している	5. どちらかという不満である
3. 現状程度でやむ得ないと思う	6. 不満である

問6 鉄道や鉄道駅等をもっと利用しやすくするためには、何をすることが必要だと思いますか。(自由に、ご意見を記入)

2 次に、「バス」で出かけることについて、お聞きます。
※バスとは、路線バス(関東自動車)、「ゆうがおバス」、デマンドバス「おでかけ号」、「おーバス」のことです。

問7 自宅から出かけるとき(日曜日・祝日を除く)、バスに乗って出かけることはありますか。(番号1つに○印)

1. 週に5日以上ある	3. 週に1～2日はある	5. 年に数日はある
2. 週に3～4日はある	4. 月に1～3日はある	6. バスでは出かけない → 問13へお進み下さい。

問8 バスに乗って出かけるとき、最もよく使うバスは、どれですか。(番号1つに○印)

1. 宇都宮～石橋線(関東自動車)	4. 広域連携バス「ゆうがおバス」
2. 石橋～真岡線(関東自動車)	5. デマンドバス「おでかけ号」
3. 自治医大線(関東自動車)	6. おーバス(小山市コミュニティバス)

問9 問3のバスに乗って出かけるときの目的は、何が最も多いですか。(番号1つに○印)

1. 通勤	4. 食事・社交・娯楽	7. その他私用(習い事など)
2. 通学	5. 観光・行楽・レジャー	8. 商用・営業・会議などの仕事・業務
3. 買い物	6. 通院	9. その他 → <input type="text"/>

問10 問9のバスに乗るとき、バス停等で何分くらいバスを待ちますか。(待ち時間を記入) また、そのバス待ち時間に満足していますか。(番号1つに○印)

おおよそ <input type="text"/> 分待ち	1. 満足している	4. どちらともいえない
	2. どちらかという満足している	5. どちらかという不満である
	3. 現状程度でやむ得ないと思う	6. 不満である

問11 問10のバス停等で乗車し目的地で降車するまで、バス運賃は何円くらい支払いますか。(運賃を記入) また、その運賃は適切だと思いますか。(番号1つに○印) ※運賃を支払っている方のみお答えください。

片道1回で <input type="text"/> 円	1. 高すぎる	4. どちらともいえない
または、1カ月定期で <input type="text"/> 円	2. どちらかという高い	5. どちらかという安い
	3. 現状でやむ得ないと思う	6. 安すぎる

問12 全体として、現状のバスの利用のしやすさや快適性などに満足していますか。(番号1つに○印)

1. 満足している	4. どちらともいえない
2. どちらかという満足している	5. どちらかという不満である
3. 現状程度でやむ得ないと思う	6. 不満である

問13 バスをもっと利用しやすくするためには、何をすることが必要だと思いますか。(自由に、ご意見を記入)

3 次に、「自動車」で出かけることについて、お聞きます。
※「自動車」利用とは、バスを除く四輪車の利用です。タクシー利用や同乗する場合も含みます。

問14 自宅から出かけるとき、自動車に乗って出かけることはありますか。(番号1つに○印)

1. 週に5日以上ある	3. 週に1～2日はある	5. 年に数日はある
2. 週に3～4日はある	4. 月に1～3日はある	6. 自動車では出かけない → 問22へお進み下さい。

問15 自動車に乗って出かけるときは、自分で運転することが多いですか。(番号1つに○印)

1. 自分で運転することが多い	2. 同乗させてもらうことが多い
-----------------	------------------

問16 自動車に乗って出かけるときの目的は、何が最も多いですか。(番号1つに○印)

1. 通勤	4. 食事・社交・娯楽	7. その他私用(習い事など)
2. 通学	5. 観光・行楽・レジャー	8. 商用・営業・会議などの仕事・業務
3. 買い物	6. 通院	9. その他 → <input type="text"/>

問17 問16の目的で出かけるとき、自宅を出発する時間帯は、何時何分ごろが多いですか。(時刻を記入)

時 分ごろ

問18 問17の時間帯における「下野市内の道路の交通状況」は、どのような状況ですか。(番号1つに○印) また、その交通状況に満足していますか。(番号1つに○印)

1. 赤信号で停車する程度	1. 満足している	4. どちらともいえない
2. 朝・夕に混雑・渋滞あり	2. どちらかという満足している	5. どちらかという不満である
3. 一日中混雑・渋滞あり	3. 現状程度でやむ得ないと思う	6. 不満である

→ 裏面の問19へお進みください。

3.交通実態調査の概要

(参考) 交通意識アンケート調査 個人調査票 (2/2)

問19 高速道路を使って出かけることがありますか。(番号1つに○印)
また、現状の高速道路の利用のしやすさに満足していますか。(番号1つに○印)

1. 週に1日以上使う	1. 満足している	4. どちらともいえない
2. 月に数日程度は使う	2. どちらかという満足している	5. どちらかという不満である
3. 年に数日程度、使わない	3. 現状程度でやむ得ないと思う	6. 不満である

問20 あなたは、自動車の利用回数を減らしたり、自動車利用をやめたりすることができますか。(番号1つに○印)

1. 条件によってはできる	2. 今は何があってもできない → 問22 へお進み下さい。
---------------	---------------------------------------

問21 今後、自動車の利用回数を減らしたり、やめたりするために必要となる条件は何ですか。(番号1つに○印)

1. 鉄道が今より利用しやすくなったとき	5. 自動車の燃料代や維持費が高くなったとき
2. バスが今より利用しやすくなったとき	6. 自動車の利用を制限されたとき
3. 安全・快適に自転車に乗れるようになったとき	7. その他 → []
4. 安全・快適に歩けるようになったとき	

4 次に、「自転車」で出かける時のことについて、お聞きします。

問22 自宅から出かけるとき(日曜日・祝日を除く)、自転車に乗って出かけることはありますか。(番号1つに○印)

1. 週に5日以上ある	3. 週に1~2日はある	5. 年に数日はある
2. 週に3~4日はある	4. 月に1~3日はある	6. 自転車では出かけない → 問27 へお進み下さい。

問23 自転車に乗って出かけるときの目的は、何が最も多いですか。(番号1つに○印)

1. 通勤	4. 食事・社交・娯楽	7. その他私用(習い事など)
2. 通学	5. 観光・行楽・レジャー	8. 商用・営業・会議などの仕事・業務
3. 買い物	6. 通院	9. その他 → []

問24 自転車で移動するとき、主にどこを走行しますか(番号1つに○印)。

1. 歩道を走行	2. 車道を走行
----------	----------

問25 自転車で目的地まで移動するとき、自転車の道路や走行空間に満足していますか(番号1つに○印)。

1. 満足している	4. どちらともいえない
2. どちらかという満足している	5. どちらかという不満である
3. 現状でやむ得ないと思う	6. 不満である

問26 自転車をもっと利用しやすくするためには、何をすることが必要だと思いますか。(番号3つ以内に○印)

1. 自動車と分離された自転車のための道を作る	5. 自転車走行部分をもっと広くする
2. 歩行者と分離された自転車のための道を作る	6. 自転車のための道をつなぎ、ネットワーク化する
3. 電柱や看板、放置自転車や違法駐車をなくする	7. 何をしても今以上の利用はしない
4. 凹凸や段差、坂道をなくする	8. その他 → []

5 次に、鉄道駅前空間に出かける時のことについて、お聞きします。

※ 鉄道やバスに乗車・降車する目的で、駅前空間に出かける場合(通過する場合)を除きます。

問27 小金井駅、自治医大駅、石橋駅の駅前空間に出かけることがありますか(日曜日・祝日を除く)。(番号1つに○印)

1. 週に5日以上ある	3. 週に1~2日はある	5. 年に数日はある
2. 週に3~4日はある	4. 月に1~3日はある	6. 駅周辺には出かけない → 問32 へお進み下さい。

問28 よく出かける駅前空間は、どこが最も多いですか。(番号1つに○印)

1. 小金井駅前	2. 自治医大駅前	3. 石橋駅前
----------	-----------	---------

問29 **問28**の駅前空間に出かけるときの目的は、何が最も多いですか。(番号1つに○印)

1. 通勤	4. 食事・社交・娯楽	7. その他私用(習い事など)
2. 通学	5. 観光・行楽・レジャー	8. 商用・営業・会議などの仕事・業務
3. 買い物	6. 通院	9. その他 → []

問30 **問28**の駅前空間を歩くとき、歩道や歩行環境に満足していますか(番号1つに○印)。

1. 満足している	4. どちらともいえない
2. どちらかという満足している	5. どちらかという不満である
3. 現状でやむ得ないと思う	6. 不満である

問31 駅前空間でもっと快適に歩けるようにするためには、何をすることが必要だと思いますか。(番号3つ以内に○印)

1. 自動車と分離された歩道を作る	6. 緑を増やし、明るい歩道とする
2. 自転車と分離された歩道を作る	7. 点字ブロック等をもっと多くつける
3. 電柱や看板、放置自転車や違法駐車をなくする	8. 何をしても今以上に歩くことはない
4. 凹凸や段差、坂道をなくする	9. その他 → []
5. 歩道をもっと広くする	

6 今後、下野市で取り組むべき重要な交通課題について、お聞きします。

問32 あなたは、今後、下野市が重点的に取り組むべき交通課題は何だと思いますか。(番号3つ以内に○印)

1. 近隣都市との交流・連携を促進し、都市活力を生み出す交通体系(鉄道、幹線道路等)の形成
2. 市民の生活、都市活動を支え、地域を活性化する市内交通体系(市道、バス、自転車等)の拡充
3. 市の顔となる地区(鉄道駅周辺)の賑わいづくり、活性化
4. 安全・安心で、快適な歩行者・自転車の通行空間の整備
5. だれもが安心して便利に利用できる鉄道・バスサービスの維持・拡充
6. 生活の足の確保、通学時の子供の全確保等、安心して暮らせる居住環境づくり
7. 災害に強く、防災に役立つ道路の整備
8. 環境負荷の少ない交通体系、交通行動の実現

7 最後に、新型コロナウイルス感染拡大の影響について、お聞きします。

問33 新型コロナウイルス感染の拡大前と比べ、現在の外出頻度は、変化していますか(日曜日・祝日を除く)。(番号1つに○印)

1. 拡大前に比べ変化、部分的に変化している	2. 拡大前と全く同じ(変化なし) → 問3 へお進み下さい。
------------------------	--

問34 あなたの外出頻度の変化の程度を、①~⑧の外出目的ごとに全て、お答え下さい。(それぞれ番号1つに○印)

外出の目的	外出頻度の変化(1週間・1ヵ月あたりでみたときの变化)					この目的で外出することはない
	変化なし	週に1~2日程度の減少	週に3~4日程度の減少	ほぼ毎日外出せず	月に1~3日程度の減少	
① 通勤	1	2	3	4	5	6
② 通学	1	2	3	4	5	6
③ 買い物	1	2	3	4	5	6
④ 食事・社交・娯楽	1	2	3	4	5	6
⑤ 観光・行楽・レジャー	1	2	3	4	5	6
⑥ 通院	1	2	3	4	5	6
⑦ その他の私用(習い事など)	1	2	3	4	5	6
⑧ 商用・営業・会議などの仕事・業務	1	2	3	4	5	6

8 「下野市における移動・交通」に関する意見等、自由にご記入ください。

以上で本調査の質問は全て終了です。ご協力ありがとうございました。